

国土開発技術研究センター 正会員 伊東孝祐
 東京都立大学大学院 正会員 秋山哲男
 東京都立大学大学院 学生会員 溝口秀勝

1. はじめに

土木計画学研究において土木史的研究の必要はあるのだろうか。土木史は、単なる歴史とは異なり、史実の解明にとどまらず、これからの様々な土木施設建設に対して役立つものでなければならないであろう。

また、土木史は、ある意味で長期にわたって行なわれた壮大な社会実験の結果を明らかにしていくものであるともいえる。それは、単なる数量的な予測だけでなく、地域への自然および社会環境、地域文化、果ては人の“生き様”等への影響等を含んだ総合的な将来予測のための材料を多く提供するものである。それにより、“土木”というものに対して大局的な見方を行うことが養っていくことが可能となる。このような、観点に立てば、土木史研究は土木計画学との関連性が深いものであるということがいえるのではなかろうか。

以上のことから、本稿は土木事業の時間的流れおよび土木計画学における土木史的研究の現状から土木計画学と土木史の関わりについて述べたものである。

2. 土木事業の流れに見る土木史および土木計画学

図-1は時間軸で捉えた土木事業の流れを表したものである。土木計画は、土木施設等のインフラ整備について、その計画（目標、…）、計画プロセス、事前評価（代替案の評価、費用便益）、事後評価を行うものであると考えれば、土木計画学のカバーする領域は、①事業の発想・構想、②計画、⑤地域への影響・地域文化の形成、⑥事後評価と考えられる。土木工学の学理的基礎といわれている応用力学、水理学、土質力学は③設計、④施工が中心であると考えられる。

土木史のカバーする領域は①～⑥と考えられる。すなわち、どのような思想・哲学のもと、計画され、つくられていったか、それが空間的、時間的、人文社会的にどのような影響を与え、また受けたかといっ

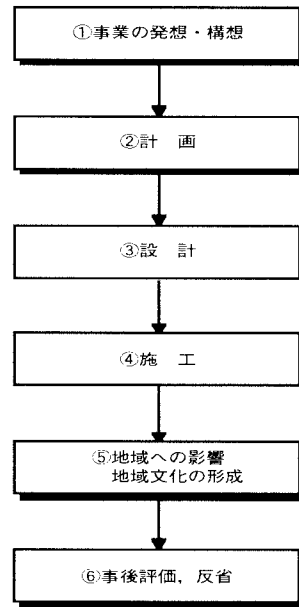


図-1 土木事業の流れ

たもの現時点で過去から学ぶものであり、⑥事後評価の視点にたつて①～⑤を見据えているともいえる。

それは単に古いものを学ぶというのではなく、個別技術の検証や計画プロセスの検証、現実のものによるある意味で壮大な社会実験結果の検証であり、そこには次の計画に対してフィードバックできる多くの示唆を含んでいる。

このように考えたとき、土木計画学と土木史との共通領域としては①、②にあたる土木計画思想史、土木計画技術史などのいわゆる“土木計画史”と⑥事後評価の2点が挙げられる。土木史および土木計画学の研究領域を表したものを図-2に示す。

過去の計画を検証し、次の計画にフィードバックしていくうえでは、土木計画学における土木史的視

キーワード：土木史、土木計画学、土木計画史、研究領域

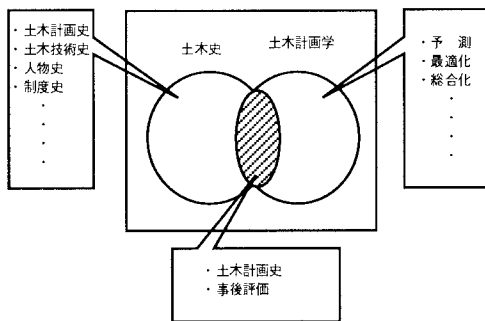
連絡先：〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-8-10 第15森ビル

点は重要と思われる。

3. 土木計画学研究に見る土木史的研究

現在、土木計画学において土木史的研究がどのように行なわれているかを明らかにするために、土木計画学研究発表会の過去の発表論文をキーワード的に分類した結果が表－1である。第1回から21回までに42編（講演集と論文集でダブるもの、招待論文については除く）の発表がみられた。

研究分野については、比較的多岐にわたっており、



図－2 土木史と土木計画学の研究領域

分野の偏りはあまり見られなかったが、総体的には都市に関連した研究が多く見られた。

また、内容は、どちらかというと、事業の発想・構想等の計画思想史的研究や変遷や変容についての研究が多く、計画論・手法や事後評価についての研究は少ない。この理由としては、データの制約、評価項目および手法が確立されてないこと等に起因すると思われる。

4. おわりに

土木史は、土木学会では第Ⅳ部門に位置づけられていることからわかるとおり、土木計画学との関連性については深いものがあると思われる。そういった中で、本稿は、土木計画学における土木史的研究の必要性について、土木計画学研究にしばってまとめたものである。本稿が、土木史研究および土木計画学研究の双方で議論が活発になれば幸である。

土木計画学の研究発表は、年次学術講演会講演概要集や土木史研究発表会でもおこなわれており、今後はこれらについてもレビューすることが課題としてあげられる。

[参考文献]

- 1) 土木学会編：「土木計画学シリーズ」 土木計画学の成立と背景，技報堂出版，1978
- 2) 土木計画学研究・講演集，論文集各号

表－1 土木計画学研究発表会で発表された論文の分類

分野\項目	発想・構想	計画論・手法	変遷	影響分析	事後評価	技術
河川	・都市河川空間形成 1 ・ネットワーク 1	・水空間デザイン 1 ・河川再生論 1	・遼河 1 ・水空間 1 ・アメニティ 1	・川との関わり 1		
	・設計思想 1 ・有料道路制度				・道路整備 1	
公園・緑地	・計画思想 1		・計画・制度 1			
鉄道	・計画思想 3		・地域開発 1 ・総合交通 3	・市街地形成 1		
	・計画思想 2	・計画過程 1	・土地利用 1 ・基盤整備 1 ・計画 1 ・都市形成 1			
景観	・道路景観設計思想 2 ・港湾 1		・ヴィスタ設計 1			
電力			・事業 1			
上水道			・普及過程 1			
橋梁	・デザイン 1					・高欄技術 1
その他	・技術観形成 1	・古地図の幾何補正 1	・産業構造 1 ・地域政策 1		・構造物の史的評価 1 ・文化財の経済的価値 1	

(総数：42編)